

平成25年3月6日

京都市長
門川大作 様

洛西ニュータウン創生推進委員会委員長
勝本 竹彦

「洛西ニュータウン緑のまちづくりに向けた提言書」について

京都市におかれましては、洛西ニュータウンおよびまちづくり活動を進める洛西ニュータウン創生推進委員会へのご支援、いつもありがとうございます。

このたび、洛西ニュータウン創生推進委員会では、「洛西ニュータウン緑のまちづくりに向けた提言書」（以下「提言書」とする）を作成いたしました。

京都市として、この「提言書」に基づいた洛西ニュータウンの緑の管理行政を行っていただくことを望むものです。

「提言書」作成に至った経緯と概要は、以下のとおりです。

洛西ニュータウンは、京都市の事業として1969年に都市計画決定、事業決定され、その後、京都大学上田研究室によるマスタープランをもとに、設計・工事が行われ、1976年より入居が開始された、緑豊かで、きわめてすぐれた特徴を持った山紫水明のニュータウンです。

ところが、まち開きから35年がたち、樹木が大きく育った一方、強剪定による立ち枯れや混植による街路景観の不統一などが見られ始めています。

まち全体が、緑豊かで、きわめてすぐれた特徴を持ち、落ち葉の有効利用など住民の緑に関する意識も高いことから、京都市の一般市街地とは違った、洛西ニュータウンのための緑の管理に関する指針が必要ではないかということになり、この「提言書」を作成いたしました。

この「提言書」は、計画当初の優れた「デザインポリシー」[※]をもとに、洛西ニュータウンの特徴ある植栽を生かし、さらに豊かで美しい緑環境を形成・管理していくための基本指針です。

[※] 本「提言書」において、洛西ニュータウンの「デザインポリシー」とは、都市計画学会による「京都市洛西新市街地開発事業地における景観構成に関する調査報告書」（1973,3）における計画当初のデザインの基本指針、洛西ニュータウン創生推進委員会主催のまちづくり勉強会（2009,10）における、上田篤京都精華大学名誉教授（洛西ニュータウン計画者）による講演「洛西ニュータウン誕生から未来へ」、および建設当時植栽計画の担当技師であった平井義昌氏による講演「洛西ニュータウンの植栽計画」において公表された計画にあたっての基本方針を示すものです。